

## 平成28年度北杜市事務事業『外部評価』の評価結果

1. 目的 市が実施する事業の必要性や実施方法等について、庁内で実施している事務事業評価に加え、外部からの視点で事業の検証を行うことにより、更なるスリムで効率的な行政運営を推進するとともに、事業に対する行政の説明責任の徹底と職員の更なる意識改革を図るため、実施しました。
2. 実施方法 北杜市行政改革推進委員会委員10名がコーディネーター及び評価人として参加し、コーディネーターによる進行の下、評価人は市職員から事業説明を受け、質疑応答や議論を行った上で、評価を行いました。
3. 実施日 平成28年10月23日（日）

事業番号	事業名	担当課	評価人の意見・評価
1	指定管理施設有効活用事業	管財課	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の統廃合や民営化等、量的コントロールに積極的に取り組んでいく必要がある。</li> <li>日常的なチェック及び年度ごとの評価等を踏まえ、施設運営をコントロールしていく必要がある。</li> <li>指定管理料について、基本としている固定制に加え、歩合制を導入することにより、なんらかのインセンティブを与えるような仕組みを今後導入していく必要がある。</li> </ul>
2	定住促進対策事業	地域課	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家バンクについて、お試しで登録できるなど、潜在的な登録候補者が気軽に利用できる仕組みを検討したらどうか。</li> <li>お試し住宅や田舎体験ツアーについて、民間活力をうまく活用する中で制度を充実していけばよいのではないか。</li> <li>把握しているニーズを活用する中でターゲットの見直し等を行うとともに、部局を越えた対応のための基礎資料として活用していけばよいのではないか。</li> <li>総合戦略の達成について、人口増加と個々の施策のつながりを意識する中で、進行管理を行っていく必要がある。</li> <li>今後の予算縮小を想定するとともに、効果等を意識する中で事業の評価を行い、事業の継続や廃止等を検討する必要がある。</li> </ul>
3	はつらつシルバー事業 【介護保険特別会計】	介護支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度自体が複雑であり、参加者側でも情報を把握しづらい状況であることから、類似事業との重複感を避けるという意味で制度の複雑化を解消することに加え、参加者への周知においても改善の余地がある。</li> <li>制度改正による新事業について、他の事例を参考にすることで、モデル地区やモデル事業を積極的に活用することによりスムーズに行えるのではないか。</li> <li>公民館を拠点とした他の活動との連携を図ることにより、所管課の垣根を越えた公民館拠点事業という観点で有効な事業が行えるのではないか。</li> </ul>
4	お楽しみ給食サービス事業	福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>かなり踏み込んだ改善を行い、それでも改善が見込まれない場合は縮小あるいは廃止を検討する必要がある。</li> <li>事業の抜本的な改善を行うため、地域委員会や介護保険サービスで行っている類似事業との調整を行う必要がある。</li> <li>事業内容と事業目的がリンクする中で、実施している事業が目的達成のために効果があるということを念頭に制度設計していただきたい。</li> <li>対象者について、なんらかの選別の仕組みが必要である。</li> </ul>
5	小水力発電普及拡大事業	環境課	<ul style="list-style-type: none"> <li>実績として、市外からの視察が重視されていることから、市民への啓発を含め、総合的に周知していく必要がある。</li> <li>市外向けとして、クリーンエネルギーの推進という市のイメージアップ戦略と観光を結びつけ、より効果的に周知して発展していく必要がある。</li> <li>市内への小水力発電の立地促進について、市民に「見える化」する啓発事業や北杜市新エネルギー推進機構と連携する中で、効果的な周知策を練っていただきたい。</li> </ul>
6	雇用・人材確保事業	観光・商工課	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容のより充実という意味での拡大・充実、あるいは方法改善等も同時に試みていく必要がある。</li> <li>内容充実あるいは方法改善等で考慮すべき要素として、ハローワークが実施していることの隙間を埋めるかたちでの開催時期や開催場所の検討が必要である。</li> <li>様々な定住促進施策とのリンクを深めるなど、市が実施する意義をしっかりと見出せるかたちで取り組んでいく必要がある。</li> <li>ターゲットを絞った周知や卒業等のタイミングを狙った広報の取り組みが必要である。</li> <li>求職者と求人者のマッチングの課題について、アンケートを活用する中で情報把握を行い、ニーズに即した内容の充実をお願いしたい。</li> </ul>
7	市道維持管理事業	道路河川課	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道の維持管理について、草刈り等を奉仕的な活動で協力いただく中で、更なる経費節減に取り組んでいただきたい。</li> <li>日常点検のニーズが高まる一方であるため、新技術の活用、あるいは点検による不具合が判明した際は低コストになる方法の試行を含め、効率化を図り、点検業務を拡大する中でコストを抑えていけるような持続的な仕組みを構築していただきたい。</li> <li>大雪等の災害時において、危機管理の観点で道路状況の情報提供をどのように行うのか日頃から留意する中で、災害時に対応できる仕組みの構築が必要である。</li> </ul>
8	ふるさと歴史公園事業	学術課	<ul style="list-style-type: none"> <li>この事業について、維持管理が中心となっており、活用が図られていないため、活用も含めて総合的かつ積極的な改革案を練っていただきたい。</li> <li>情報発信の重要性が非常に高いことから、観光・商工課を含め関係機関と十分に連携し、パンフレットのすみ分けや情報発信のための手段の構築を行う中で、協力関係を強めてほしい。</li> <li>庁内だけでなく、定住自立圏として長野県富士見町や原村と連携する中で、「八ヶ岳」エリアとしての情報発信が必要である。</li> <li>梅之木遺跡について、コストの抑制や省力化等を更に図っていく仕組みが必要である。</li> </ul>